

令和3年度（2021年度）
第1回基本評価等専門委員会
会 議 録

日 時：令和3年（2021年）4月7日（水） 10:45～11:05
場 所：道庁別館庁舎10階 北海道労働委員会会議室

【出席者】

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
委員長	石井 吉春	北海道大学客員教授
副委員長	水島 淳恵	小樽商科大学商学部経済学科教授
委 員	内田 賢悦	北海道大学大学院工学研究院教授
委 員	大賀 京子	北海道教育大学教育学部札幌校准教授
委 員	葛西 さとみ	行政書士カサイ・オフィス
委 員	嘉藤 裕一	公募委員
委 員	村上 裕一	北海道大学大学院公共政策学連携研究部准教授
委 員	渡部 要一	北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授

【事務局(北海道)】

北海道総合政策部計画局計画推進課長

川村 秀明

ほか

1 開 会

2 議 事

(1) 令和3年度基本評価等の実施概要について

(事務局より資料1に基づき説明)

【嘉藤委員】

- ・ 資料1の6ページ「評価の手法と流れ」の「(3) 二次評価実施」において、二次政策評価等検討チームは、昨年度から変更があったのか。

【事務局】

- ・ 現在検討している総合計画の見直しを踏まえ、新たにデジタル化、カーボンニュートラルの実現、SDGs 推進の視点を追加するため、関係課を追加する予定としている。

【村上(裕一)委員】

- ・ 資料1の6ページ「評価の手法と流れ」の「(4) ヒアリングを実施」について、ヒアリングのイメージ図では、評価委員1人に対し事務局と担当部局を含む道庁職員が4人程度出席する形となっているが、例えばヒアリングは評価委員2人が担当できるなど、実際の運用は柔軟なものと考えてよいか。

【事務局】

- ・ 計画推進課は委員会の事務局として、委員に二次政策評価(案)をはじめ、その他課題や論点を説明する。委員には、ヒアリングの実施を通して疑義が残るなどの場合には、追加の確認作業も行ってもらうことも想定している。
- ・ 委員には大きな負担をかけないように進めたいと考えている。

【石井委員長】

- ・ 手法としては、主担当を決めることをイメージしているが、担当ではなくても、ヒアリングに参加することは問題ないと思っている。
- ・ 評価対象やヒアリングの概要が決まった後に、希望があれば他の委員が追加で参加することは柔軟に実施できればと思っている。

【事務局】

- ・ 委員の皆様には事前に希望を取ることとしており、委員の負担の面も考慮し、担当人数等を含め調整して進めたい。

《その他意見等なし》

(2) 令和3年度基本評価における政策評価実施方針について

(事務局より資料2、資料3-1、資料3-2に基づき説明)

【石井委員長】

- ・ 今後は、今年度対象とする7中項目の選定について検討していくこととなる。

【事務局】

- ・ 総合計画では、大項目である「生活・安心」、「経済・産業」、「人・地域」の3分野

ごとに7つの政策の柱が整理されており、現在の事務局の考えであるが、各分野から2～3を選択することを考えているところ。

- ・ 理由としては、1分野の7政策の柱を評価することも考えられるが、担当部局が集中し、負担が非常に大きくなることや、毎年、異なる委員が異なる視点で評価することで多様な意見を伺うことができると考えている。

【石井委員長】

- ・ 私も同様のイメージを持っており、担当部局の負担が偏らないのは、大事な要素と思っている。
- ・ また、委員が評価手法に慣れるためにも、各分野を幅広く見ることができれば良いと思っている。
- ・ 今年度は初年度であるので、委員の希望も踏まえて、対象を決めることで良いかと思うので、よろしく願います。

【事務局】

- ・ 希望する項目があれば教えて欲しいと思っている。

【石井委員長】

- ・ 総合計画の関係では、政策と施策の関係性についても、今まで検証していなかったと思うが、今年度の評価を通じて意見があっても良いと思っている。

《その他意見等なし》

【石井委員長】

- ・ その他、意見がなければ、以上で審議を終了することとしたいが、令和3年度基本評価における政策評価実施方針については、案のとおり了承でよろしいか。

《異議等なし》

3 その他
特になし

4 閉会